

輝く明日のために!

令和元年度 空手道競技 高等学校等トップ選手強化事業
令和2年2月22日（土）・23日（日） 宮崎県武道館剣道場

宮崎
県連時報

(第129号)
編集兼発行
宮崎市佐土原町
下那珂1382-7
宮崎県空手道連盟
広報企画委員会
TEL/FAX0985-73-7751

この事業の目的は、宮崎県からトップ選手を継続的に育成するために、中学生から高校生まで優秀な選手を学年毎に選出し、県内外から優秀な指導者を招聘して、中高合同の練習や研修会を実施することです。主催は県教育委員会、県高体連、県中体連の事業です。本年度は国際武道大学空手道部監督の荒川尊祐先生、SPECIALIST 代表の渡邊浩二先生、国際武道大学部員で全日本強化選手U21男子組手－67kg級の荒川雅俊先生の3名を講師陣として招聘しました。渡邊先生はCSCSやNSCA-CAPなどの国際資格を所有し、ソフトバンクホールクスキャンプの特別コーチや、プロバスケットボールのトレーナーを歴任するなど、一流のトレーナーです。ウォーミングアップでは心拍数を上昇させなくてはならない理由を理論付けて説明してくださったり、サーキットトレーニングは単にきついだけでなく、何を目的とするのかというゴールイメージを抱くことが大切であることなどを説明してくださったりしてくれました。組手では、先日の段位審査で見事公認七段に合格された荒川尊祐先生と、U21ナショナルチームの荒川雅俊先生の指導によりご指導をいただきました。特に荒川雅俊先生は昨年12月に開催された天皇杯・皇后杯第47回全日本空手道選手権大会団体組手3位のメンバーだけあって、現役さながらの指導をしていただきました。この練習会には、競技力があまり高くない選手も参加していましたが、そのグループの中にも積極的に溶け込んで、練習会全体が非常に活気ある雰囲気になりました。県内の高校生・中学生、全国大会出場経験者・なかなか1回戦を突破できない選手などが一堂に会して練習できるという、この事業の一番の良いところはそこなのかもしれません。来年度の県高校総体に向けて、良い刺激になったと思います。**高体連空手道専門部委員長 村上 貴志**



空手日記 至空塾 河野和久

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で自宅で過ごす時間が増えていました。皆さんは何をされていますか。私は軽めのウェイトトレーニングをしたり、ヨーチューブで懐かしい曲を聴いて青春時代を思い出しています。「♪何も怖くなかった。ただ、あなたの優しさが怖かつた♪」なんて得意の妄想の世界を楽しんでいます。こんな時だからこそ、県連時報に投稿してみませんか。あなたの何気ない日常や過去を教えてちょうだい。【HISHAの想い出】

中京大学名古屋校舎正門前の山手通りに「HISHA（ヒシャ）」というおしゃれなお店があった。店内の中央にガラス張りのDJボックスがあり、アナウンサーの卵みたいなD



りをしていた時に、オーナーが冷静な声で「D」の声は店の外にも流れているのは知っているよね。大丈夫？ みたいな事を助言してくれた。一瞬、心が凍りついたが、まあ、大丈夫だろうと思ついたら、案の定、次の日の稽古がどえりやうきつかつたのは言うまでもなかつた。周りの状況確認は大事ですね。壁に耳あり、障子に目あり。HISWA最高！ 「さて、次の曲は永遠の九州の山猿こと河野和久さん18歳からのリクエストです。聴いてください。ハ神純子で『思い出は美しすぎて』・・・・・



やべり広場」至空塾 新名佑悟

コロナと花粉に負けじと練習・仕事に励んでおります。現在多大な影響が出ているコロナの状況をチャンスと捉え、日々の練習をモチベーションにして毎日を過ごしています。

